

議案

【 市長提案説明 】

本日は市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、何かとご多用の中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただいま上程となりました議案第 88 号「令和 4 年度桑名市一般会計補正予算（第 8 号）」につきまして、ご説明申し上げます。

今回の一般会計補正予算（第 8 号）は、災害拠点となる消防本部の高台移転を含む消防庁舎等の再編整備について、このほど、優先交渉権者である民間事業者との協議が整ってまいりましたことから、令和 6 年度の完成を目指し、継続費の設定などを行うほか、食料品や光熱費などをはじめ、生活に密着したあらゆるものの価格上昇が続く中、その影響を受けやすい住民税非課税世帯や子育て世帯などを支援するための予算を計上するものでございます。

まず、消防庁舎等再編整備事業につきましては、消防本部や大山田分署とともに、大山田地区市民センターや大山田まちづくり拠点施設などを、合築による一体の施設として整備するほか、これとあわせて、消防団詰所や防災広場、立体駐車場についても、同じエリア内に整備するものでございます。

これらに係る設計、施工及び工事監理のほか、このために必要な用地取得に係る費用などについて、事業期間を令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 年間として、継続費を設定するものであります。

また、立体駐車場につきましては、整備後の管理運営業務を民間事業者へ委託するため、債務負担行為の設定もあわせて行っております。

そのため、今回の補正の歳出予算では、これら継続費における令和 4 年度の年割額を計上するとともに、本市の予算が事業別予算であることを踏まえ、事業ごとに予算額の整理を行い、継続費とともに、それぞれ総務費と消防費に分けて予算額を計上いたしております。

次に、民生費では、物価高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の生活を支援するため、一世帯あたり 5 万円を支給するための給付費と、必要となる事務費を計上いたしております。

また、市独自の支援策として、物価高騰による影響が続く中、子育て世帯の暮らしを支援するため、「子育て世帯生活応援給付金」として、子ども一人につき 1 万円を支給するための給付費と、必要となる事務費を計上いたしております。

続きまして、歳入の主なものについてご説明申し上げます。

まず、国庫支出金につきましては、政府の閣議決定による国の予備費の使用に伴うもので、今回の住民税非課税世帯や子育て世帯などへの支援金の財源として、これを活用するものでございます。

次に、繰越金につきましては、この補正予算の収支の均衡を図るため、令和 3 年度決算を踏まえ、所要の額を計上いたしております。

次に、市債につきましては、消防庁舎等再編整備事業の財源として、合併特例事業債や緊急防災・減災事業債などの起債を活用するもので、複合施設を構成する施設ごとに応じた起債メニューにより、それぞれ計上するものでございます。

以上、上程の議案につきまして、大要をご説明申し上げます。

市民の皆様の暮らしや生活、そして、生命を守るべく、いずれの事業におきましても、速やかに取り組んでまいります。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。

(会議録が正式な発言記録となります。)